

編集部が行く
読者の
気になる店



すべての人にやさしい
日本初のユニバーサルシアター

●CINEMA Chupki TABATA (シネマ・チュプキ・タバタ)

目が見えない人、耳が聴こえない人、全てのの人に映画の感動を届けたいという思いから、誕生して1年。わずか20席あまりの小さな映画館には、イヤホン音声ガイドや日本語字幕サービス、車椅子や盲導犬と一緒に鑑賞できるスペースのほか、完全防音の親子鑑賞室も。“チュプキ”(自然の光を意味する)の名のように、どんな人も優しく包み込むシアターとして観られています。



森の中をイメージした館内は、人工芝を敷いたリラックスできる空間

●北区東田端2-8-4 マウントサイドTABATA ●水曜定休
●10:00 ~ 23:00 ●03-6240-8480 ●料金一般1500円



WEBからの応募もできます!
下記コラムにあなたの声が掲載されます

東京リビングでは、下記コラムに掲載する情報を大事に「編集部が行く 読者の気になる店」に読者の気になる店の情報をお寄せください。

採用の場合、東京リビング編集部からお電話させていただきます。また、リビング新聞webサイトにも掲載の可能性があります。※個人情報保護法に基づき、掲載内容は掲載後、氏名、電話番号、年齢、性別を明記し、web・郵送のいずれかで応募を、〒102-8515(住所不電)サンバイリビング新聞社東京本部へお送りください。web: http://r.living.jp/mr/0712/voice

紙面の無断転載を禁じます。配布部数=東京都全域22万8100部
◎個人情報取得については当社ホームページまたは個人情報保護推進事務局 03-6216-9191 (平日午前10時~午後5時)までお問い合わせください。本紙掲載の広告主が収集した個人情報については各広告主へお問い合わせください。
◎企業名が見出しに表示されているものはその企業からのPR情報です。
◎記事・広告・配布についての問い合わせは
TEL:03-6216-9195 Fax:03-6216-9257 JAFPA http://www.jafpa.or.jp 日本生活情報誌協会加盟誌

大人
おしゃれ
通信

帽子で秋のおしゃれを影って

初心者にもかぶりやすい
ベレー帽が今秋のマスト



つば広帽子や中折れハット、フェルト帽などが流行し、普段使いで帽子を楽しむ女性が増えました。今季はベレー帽などコンパクトなシルエットが要チェックです(松屋銀座 婦人雑貨バイヤー 角田美水さん)

ベレー帽は“斜めに深く”

今年はベレー帽やワッチなど小さな帽子が充実。カフェなどカジュアルなシチュエーションなら室内でもかぶったままでOKなので、髪型の崩れが気にならないのもポイントです。ベレー帽は頭にボンと乗せるのではなく、斜めに深くかぶるのが今年流!



ベレー帽各1万2960円~1万5120円。右から2番目は角田さん着用商品

洋服とのバランスがカギ

帽子選びで失敗が少ないのは、黒や茶、紺など髪色になじむアイテム。テララティブな帽子の場合は、例えば洋服を黒一色でまとめるお洒落な印象に。コーデのスパイスとして、帽子で流行色を取り入れる手法もおすすです。

●取材協力 松屋銀座 1階 婦人雑貨「エッセンスプラス」/シーズン先取りした雑貨や海外でセレクトしたアイテムを展開。10月は選替わりで「ボレロ」など個性的なデザイナーブランドの帽子を紹介。TEL:03-3567-1211 (大代表)



ワッチ各1万5120円。独創的な刺しゅうやモチーフ使いが魅力



折り畳めるユニークなハット各2万円

初上陸の
魅惑

現地で人気の
メニューを再現!
大人のハワイアングリル

ハワイ島でワイメアとヒロに2店舗を展開する「Hawaiian Style Cafe (ハワイアンスタイルカフェ)」。その日本第1号店が昨年3月、大型商業施設「東急プラザ銀座」内にオープン。



同店で味わえる、現地ハワイでも人気のメニューが、“カルーアボー”を使い、そのおいしさを存分に引き出した料理の数々。ヒッコリースモークの風味と口の中であつたほろほろとした食感が特徴的なカルーアボーをキャベツと炒めた「カルーアキャベツ」、またはマッシュポテトになつたり混ぜ込んだ「カルーアハッシュ」など、魅力的なメニューがバリエーション豊富にそろいます。洗練されたリゾートの雰囲気が感じられるシックな空間で、本格的なハワイの



「カルーアボー&キャベツ」1780円 ※ディナー限定

味を堪能してみてください。
ガイ&ジョーズ ハワイアンスタイルカフェ ☎03-6280-6812

編集部が行く
読者の
気になる店



すべての人にやさしい
日本初のユニバーサルシアター

●CINEMA Chupki TABATA (シネマ・チュプキ・タバタ)

目が見えない人、耳が聴こえない人、全てのの人に映画の感動を届けたいという思いから、誕生して1年。わずか20席あまりの小さな映画館には、イヤホン音声ガイドや日本語字幕サービス、車椅子や盲導犬と一緒に鑑賞できるスペースのほか、完全防音の親子鑑賞室も。“チュプキ”(自然の光を意味する)の名のように、どんな人も優しく包み込むシアターとして観られています。



森の中をイメージした館内は、人工芝を敷いたリラックスできる空間

●北区東田端2-8-4 マウントサイドTABATA ●水曜定休
●10:00 ~ 23:00 ●03-6240-8480 ●料金一般1500円